

平成19年度第2回熊本市行財政改革推進計画委員会 議事録（要旨）

1 日 時

平成20年2月21日(木) 午後2時から4時まで

2 場 所

熊本市役所 庁舎4階モニター室

3 出席委員（敬称略、順不同）7名

米澤和彦（会長）、小西砂千夫、澤田俊郎、徳永理映、岩永邦子、田中広幸  
吉住博之の各委員

※欠席委員

松崎景子（副会長）委員は欠席

4 配布資料

- ・ 資料1 現行財政改革計画の進捗
- ・ 資料2 熊本市外郭団体補助金の見直しについて
- ・ 資料3 外郭団体の退職手当財源補填廃止に伴う助成金支給について
- ・ 資料4 熊本市職員の意識改革に向けて
- ・ 資料5 熊本市職員の倫理の保持に関する条例（イメージ図）
- ・ 資料6 熊本市職員の倫理の保持に関する条例

5 次第

開会

（1）市長挨拶

（2）会長挨拶

（3）議事

- ① 新行財政改革計画の策定に向けた取組みの状況について【資料1】
  - ・ 主な取り組み項目について
  - ・ その他
- ② 熊本市外郭団体補助金の見直しについて【資料2、3】
- ③ 熊本市職員の意識改革に向けて【資料4～6】
- ④ その他

閉会

## 6 議事録（要旨）

米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 傍聴人（4人）の方は、（傍聴券記載の）注意事項を遵守していただきたい。</li> <li>・ 議事に入る前に、まず、本委員会の役割について、説明願いたい。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本委員会の役割は、これまでの委員会でもご審議いただきましたように現行財政改革推進計画（現計画）の進捗及び（行財政改革推進上の重要課題である）特定のテーマについてご意見、ご助言をいただくこと。</li> <li>・ 加えて、新行財政改革計画（新計画）の基本方針、取組み項目などに関して、ご助言、ご提言をいただくこととしている。</li> <li>・ 前回の委員会で、新行財政改革計画策定の基本方針（案）に対してご意見等をいただき、策定済みである。</li> <li>・ 本日は、新計画の取組み項目案について、ご意見をいただきたい。</li> <li>・ 新計画は、新しい熊本づくりを着実に進めるための第6次の総合計画を下支えする役割を担うものと位置付けている。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確認すると、本委員会は、現計画期間の5年間（平成16～20年度）のうち、3年目、4年目（平成18年～19年度）を担当し、前回から、新計画（平成21年度～）の策定に向けた審議を行っている状況である。</li> <li>・ それでは、議事①について説明願いたい。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現計画の平成18、19年度の主な取組み、成果等を説明。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今の説明に対して、ご意見等はないか。</li> <li>・ 確認だが、自治基本条例は策定されたのか。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 着手したが、まだ結論まで至ってない。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他、全般的にご意見等はないか。</li> </ul>
澤田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治基本条例は、一度廃案になっているので、同じような手順だと同じ結果になる。前回との違いを示したほうが良いのではないか。</li> </ul>
総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、専門委員会（大学教授、公募市民、市議会議員、行政で構成）を作り、月1回程度、議論している。</li> <li>・ 今年度中の策定に至らなかったもので、平成20年度も引き続き他都市の状況等を含め、議論していく予定である。</li> </ul>

米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的成果（資料 1、P 2）の数値について説明願いたい。</li> </ul>
企画財政局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この数値は、自治体の基本的な財政指標を掲載しているもので平成 15 年度当時は、各指標の中で他の中核市に比較し平均以下のものが見られた。</li> <li>・ 平成 16 年度以降、行政改革と財政の健全化の取組みを行った結果、財政調達基金残高は確実に増え、市債残高も、順調に減少している。</li> <li>・ なお、経常収支比率、公債費比率は、国の三位一体の改革という大きな制度変更のもとでは総じて順調に改善しており、起債制限比率も、順次軽減する方向で対応を図っている。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他にご意見等はないか。</li> <li>・ 意見がないので、新行財政改革計画の策定に向けた取組みについて、説明いただきたい。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新行財政改革計画の策定に向けた取組みについて説明（資料 1 に掲げる項目は行政経営課案であり、決定しているものではない。）</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現計画は 5 年計画となっており、この委員会は第 2 次の委員会で、現計画の 3、4 年目を受け持っている。</li> <li>・ 平成 20 年度は、現計画をさらに推進するとともに、新計画の策定スケジュールでは、計画骨子が 6 月の予定であることから、この委員会で審議しておかないと、次回の委員会では間に合わない。</li> <li>・ 従って、検討項目 8 項目（資料 1、P 8～）について、意見等いただきたい。</li> </ul>
吉住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この項目の中で、市が最も重要な課題と捕らえているのはどれか。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 項目の全てが重要な項目と考えているが、特に、公共サービスの見直しに関して、その仕事を公務員がやらなければいけないものなのか、民間委託、民間譲渡等の可能性がないのかを徹底的に検証したいと考えている。</li> <li>・ また、議会、市民の皆様等のご意見もいただきながら実施に向け検討を行っていきたい。</li> <li>・ それで、職員数の削減、組織の見直しなどスリムで簡素な組織体制の確立に繋がると考えている。</li> </ul>
吉住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共サービスのあり方については、今さら始まった問題ではなく、</li> </ul>

吉住委員	<p>従来から、改善が努力されてきているものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい項目として、政令指定都市を見据えた合併問題、外郭団体の改革、これらは並大抵のことでなく、計画のプログラムに挙げるだけでは、なかなか進まないのではないか。</li> <li>・本腰を入れ、大胆に、スピードをもってやらないと、うやむやになってしまう。現在の国の状況を見てもそうだ。</li> </ul>
総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外郭団体の改革については、指定管理者制度の導入にあたり第1回目（平成18年度～20年度）の選定は非公募とし、これまで管理運営を行ってきた団体を指定した。</li> <li>・しかしながら、平成21年度からは原則公募とするため、外郭団体は、民間事業者と競争することになる。</li> <li>・そのため改革計画を策定し改善に取り組んでおり、本市も外郭団体への補助金見直しや市派遣職員の引き揚げを計画している。</li> </ul>
企画財政局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政改革と合併政令市を関連付けることはなかなか難しいところがある。</li> <li>・合併となると、住民は自分達の町がどうなるのか、どんな新たなサービスが出てくるのか、身近な問題がどう変わっていくのかという観点が多い。</li> <li>・それに対しては丁寧な説明が必要だが、その際、自治体として、どう魅力のあるまちづくりをするのか、住民と一緒にどうつくっていくのかという観点を持つことが基本ではないか。</li> <li>・合併問題は、自主財源による給付と負担があるということ、基本的な視点として説明を申し上げたいと考えている。</li> </ul>
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この検討項目は、すべて新しいものなのか。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共のサービスの見直しを大きな柱としている点で、現計画との違いがある。</li> <li>・現計画では、市民サービスの改革項目を設けていたが、公共サービスの見直しは、国の行革指針にもあるので、これに対応するよう本市としても取り組みを行っていきたい。</li> </ul>
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これだけの新計画の項目があっても、現計画の状況が分からないので、課題も見えてこないで説明いただきたい。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1、1ページにあるように、例えば、指定管理者制度を導入し、公の施設の管理運営を職員が直接行っていたものを民間に開放した。中学校の給食共同調理場は、昨年4月に2ヶ所の民間委</li> </ul>

行政経営課長	<p>託を行い、今年4月からは新たに3ヶ所を民間委託する予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園についても、昨年4月、寺原保育園を民間に譲渡し、今年4月には水前寺保育園を民間譲渡の予定である。</li> <li>・ その他清掃関係についても、それまで全て直営で行っていたが、家庭ごみ収集に関しては、現在10%民間委託しているものを、今年4月から20%に拡大することとしている。</li> <li>・ これらの結果、これまで大きなサービス低下や事故はないので、新計画では、更に拡充できないか検討している。</li> </ul>
徳永委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報公開の時代なので、これらの項目は、ホームページ等で分かりやすく、情報提供を行っていただきたい。</li> <li>・ さらに、新計画策定の経過等についても情報公開できれば良いのではないか。</li> <li>・ 職員の不祥事が報道されているが、市民感覚とすれば、再発防止対策の内容を知りたいので、情報公開ができると良いのではないか。</li> <li>・ 新しい項目のなかで、民間提案制度に期待を寄せられているとの説明があったが、民間から広く意見を求めるのも大事だが、職員からも提案できるようにした方が良いのではないか。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎年度見直しを行っている現計画の実施計画や新計画の方針、この委員会の議事録などの情報公開に関しては、全て市ホームページに掲載しているが、今後より多くの市民に見ていただけるよう工夫していきたい。</li> </ul>
澤田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガバナンス評価に関して、市は66点の評価とのことだが合格点の基準の考え方を説明して欲しい。</li> <li>・ また、ネーミングライツは、市民会館で失敗しているが電停やバス停で出来るのか。</li> </ul>
岩永委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現計画の進捗状況を把握しているなかで、今回、新しい項目が出てきたが、現計画において中途半端になっている項目があるのではないか。</li> <li>・ 新計画では、項目を絞って進捗管理していったほうが良いのではないか。</li> </ul>
小西委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料1で、新計画の項目が(1)から(8)までであるが、項目のそれぞれの関係がどうなっているのか、多分執行部でのイメージ(形象)があるのだろうと思う。</li> </ul>

小西委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何が新計画の中心かという田中委員からの質問に対し、(2) 公共サービスの見直しであるという説明であり、(2) が真ん中であって、他の項目は(2) に対して付随していると思われる。</li> <li>・ 従って、そういうシナリオ(筋書き)の形で見せないで、我々は不満であると感じる。</li> <li>・ (1) から(8)の項目は並列ではなくて、あるシナリオの基で、関係性を持ったひとつのビジョン(将来の展望)であるというふうに、見せていただいたほうが良いのではないか。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私も同じ意見で、全て項目を網羅してあるのだとは思いますが、何をやるのかがはっきり見えないので、整理していただきたい。</li> <li>・ 行政改革と財政改革が並べてあるが、一般市民の方々が見て分かりやすい様に、構成するほうが良いのではないか。</li> </ul>
小西委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総花的にも見えるが、例えば、公共事業の抑制とか、箱ものを作らないとか、そういったものは項目にない。基本的に今のままで公共事業をやり過ぎて困るとか、借金をし過ぎて困るということにはならないと市は考えていると思う。</li> <li>・ 職員数を計画的に削減していくが、その分、組織とか職員数の配置などを変えなければ、単純に職員数を削減するやり方では、結局、処理能力を落とすことでしか対応できなくなる。</li> <li>・ そこで、意思決定や内部管理運営の方法などを大胆に転換するという想いが透けて見える。</li> <li>・ そういう戦略で書いているのではないか。人が減っても仕事の質が落ちないように、組織と体制と意思決定のやり方を変えることを、次の改革の柱にしたいと考えているのではないか。</li> </ul>
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的成果の数値を見ると、経費効果額が計画から遅れているように見えるが、新計画では、そこを重点的に取り組んでいくとなると業務委託が中心となってくるのか。</li> <li>・ そうなるとより安いコストでというところに繋がっていくのか。</li> <li>・ また、新計画の目標として、市民志向の質の高い市民サービスの提供とあるが、どのようにして市民からの意見聴取を図っていくのか。この委員会だけで意見を汲み取れるのか。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新計画の構成は、項目を並べているだけでは、分かりづらいので、できるだけ分かりやすくすることができないか。</li> </ul>
総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第6次の総合計画とこの8項目との関係はどうなっているのか。</li> </ul>

<p>総務局長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現計画は、市民協働の積極的な推進、市民サービスの改革推進、組織風土の改革推進、組織機構の改革推進、公営企業の経営健全化の推進、外郭団体の改革の推進、及び財政健全化の推進の7項目で柱立てし、そのなかに64項目を挙げ、取り組んでいるが、新計画では、8項目の柱で構成をしている。</li> <li>・ 新計画の目的は、より安いコストで質の高いサービスを提供すること、簡素で効率的な行政体制の整備、財政の健全化、市民志向の質の高い市民サービスの提供を目標に組み立てたが、その構成についてはご意見を踏まえ今後工夫したい。</li> </ul>
<p>行政経営課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新計画の項目は、これから全庁的に検討していくので、最終的な項目が見えてきた時点で、柱立てや項目の集約などを変更したいと考えている。</li> <li>・ また、ガバナンス評価点数が66点は、評価する（財団法人の）民間研究所のアンケート項目結果に基づいた点数である。</li> <li>・ この点数が決して高いとは思っておらず、組織の運営のあり方などについて総務局、企画財政局を中心に、この5年間で新計画に取り入れることができないか考えていきたい。</li> <li>・ 公共事業の抑制など総花的ではないというご意見もいただいたが、これから財政の健全化策等の検討を行っていくので、各部署の意見等を取りまとめたうえで、分かりやすい計画としたい。</li> <li>・ （計画の進捗を測る指標としての）経費効果額については、職員削減数とともに、重要と考えており、概ね達成していると考えている。</li> <li>・ 現計画の個々の取り組みについては、その成果をどのような基準で計るのかという観点が出ており、経費効果額や財政指標などで全体の効果を図っている状況にある。</li> <li>・ 新計画では、個々の取り組みについても可能な限り成果指標を設け、それが客観的に数字等で測れるようにしていきたい。</li> </ul>
<p>米澤会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現計画では、自己点検のみで第三者が評価するシステムがないので、次の計画に反映できないのではないかと。</li> <li>・ 行財政改革は下からボトムアップをすることも大事だが、上からある程度枝葉を切って幹を見えるようにしないと何をやっているのか分からない。</li> </ul>
<p>行政経営課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現計画64項目の中には、（具体的な取り組みである）小項目が約200あるが、平成20年3月31日時点で、取り組みがどうだったのかという評価を、この次の委員会で行っていただきたいと考えている。</li> </ul>

行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善が終わった項目は終了するが、残された課題があれば、次の新計画に繋ぐという第1グループと、今まで行革項目になかったもので、予算、人員の配置、残業時間等も含め、他に改善項目はないのかという第2グループに分けて、作業を行っている。</li> <li>その結果を基に、大・小項目の振り分けをはじめ新計画項目としてどれが適切なのかなどを詰めていきたい。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>次の第3次・委員会では、現項目の現状把握、それに対する意見等を行うということで理解して良いか。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい。</li> </ul>
岩永委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>この委員会では、効果的な補助金の見直しについて審議する等いろいろあったが、この2年間のなかで、今ひとつ改善状況が分からない。</li> <li>この進捗状況が分からないと、次の計画にも進んでいけないのではないか。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年3月末で4年間の進捗状況が揃い、それを基に新計画策定に向けた整理作業を今進めているということか。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>各取り組みの状況把握が5年目では間に合わないので、4年目に検証し、それを踏まえ、もう一回枝葉を切って、幹が見えるようにしないと、市民の目から見ても何をやっているのか分からない。</li> <li>確かに頑張っているのは分かるが、進捗状況が分かるようにしていただきたい。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>現計画における各項目の進捗状況は、実施計画のなかで、小項目約200項目の全てについて、毎年公表している。</li> <li>4年間の検証は作業中ということでご理解いただきたい。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年計画ということは、4年間で結果を出さなければならない。</li> <li>他に意見等がないので、続いて議事②について説明願いたい。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本市外郭団体補助金の見直しについて説明。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>この件について、2点説明があった。</li> <li>指定管理者となる団体における総務的経費に係る補助の廃止につ</li> </ul>



米澤会長	<p>いて（項目1）は、これまで（法人の理事会経費等の）総務的経費として支給してきた補助金は廃止し、その費用は指定管理者料の一般管理費として別途算定することにしてはいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>また、外郭団体の退職手当財源を補填する補助の廃止について（項目2）は、これまで団体職員の退職金不足分を市が補助していたものを廃止し、これに伴う代替の措置として、ある一定の基準に従い一括して支給するので、以後各団体はそれを運用しながら、退職金制度の見直しなど経営改革してもらおうという理解で良いか。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>これらの取り扱いは、いつから始めるのか。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目1については、平成20年度まで補助するが、平成21年度からは廃止する。</li> <li>項目2についても、平成20年度末をもって廃止し、代替措置を講じる。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>他にご意見等はないか。</li> <li>質問がないようなので、議事③について説明願いたい。</li> </ul>
人事課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本市職員の意識改革に向けて説明。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>不祥事を起こした職員数が平成16年度から18年度にかけて、8人、5人、4人と減少してきたが、平成19年度は9人と増えている。</li> <li>報道機関の前で、市幹部が頭を下げているのを何回か見たという記憶がある。できればそれが無くなるよう、ご意見、ご助言があれば、ご発言願いたい。</li> </ul>
吉住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>懲戒処分件数が、平成19年度は9件で、5名逮捕されている、件数はすべての処分か。</li> </ul>
人事課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>懲戒内容は、戒告、減給、停職、免職全てで9件、逮捕者5名である。</li> </ul>
吉住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>他年度の逮捕者数は。</li> </ul>
人事課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度2件あり、他の年度はない。</li> </ul>

吉住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この委員会委員になって、当初から職員の規律の保持について、何度となく意見してきた。</li> <li>・ 社会規範がいろいろな組織の中においても、緩くなっている認識はしているが、職員数6,000人のところで逮捕者が5人というのは、異常ではないかと思う。</li> <li>・ 数%の不祥事問題が発生するのは、仕方ないと思うが、5人も逮捕者が出るということを幹部はどう考えているのか。</li> <li>・ 不祥事のたびに謝罪の言葉を聞くが、何故こんなに多くの職員が不祥事を起こすのか疑問である。</li> <li>・ 従って、今回条例を策定する趣旨は結構だが、条例を作ったからといって職員の不祥事が無くなるものではないと思うし、根源に何かあると思う。そこは、職員の方々が重く受け止めていただきたい。</li> <li>・ 職員は、市民と接する機会が多く、行政需要も大変なところもある、また地縁、血縁、同窓など不祥事が起きる一因ではないか。</li> <li>・ 特に、入札問題などで問題が起きるケースがある。職員が大変なことは分かるが、あまりにも不祥事の件数が多過ぎる。</li> <li>・ 先程、若手職員に対する教育研修について説明があったが、中堅以上、幹部クラスの職員を個別に教育したほうがよいのではないか。</li> <li>・ 単に若手職員が悪いというだけの問題ではないと思う。他の組織でもそうだが、部下のみに責任を押し付けるのではなく、幹部クラスの職員も反省してもらいたい。</li> </ul>
人事課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明が悪かったのかもしれないが、若手職員だけが悪いという認識は全くない。</li> <li>・ 研修については、例えば担当者、係長、課長補佐、課長、部長といった階層別の研修を実施しており、そういった階層別研修のなかで、より中心となる職員に重点を置いて研修していく。</li> <li>・ また、リーダーシップを発揮しなければならない管理職や係長、課長補佐についても、特に重要な役割を担うべきだと考えている。</li> <li>・ 若い職員だけに責任があるということではなく、全職員一丸となり、意識を変えていかなければならないと考えている。</li> <li>・ 逮捕者数については、未だ処分は行っていないが、今年2月に起きた職員逮捕の件も含めて5件であるから、資料4にある9件には含まれていない。</li> <li>・ 社会的情勢等から酒気帯び運転が厳しくなり、現行犯逮捕となったのも要因の1つではないかと考えている。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この件について、ご意見等はないか。</li> </ul>

徳永委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、政令指定都市を目指して（組織の）規模が大きくなっていくと思う。規模が大きくなればそれに伴い、職員同士の距離感も大きくなっていくのではないか。例えば、これが離島の小さな役場であれば、不祥事もなかなか発生しにくい状況にあるのではないか。</li> <li>・ 不祥事を起こした職員は、例えば、多重債務者だった、何らかの悩みを抱えていたなどの問題があったのではないだろうか。そのような問題を抱えた職員がすぐにでも相談ができるような体制があれば、早めに把握でき、（不祥事を）未然に防ぐことができるのではないか。</li> <li>・ 距離感のない相談体制があれば、一番良いと思う。</li> <li>・ 今後、合併し、全く知らない職員が入ってこられるような状況では混乱も出てくると思うので、是非、体制づくりをしていただきたい。</li> </ul>
総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不祥事が続き、大変申し訳なく思う。不祥事が続いたことを受け、市長からの緊急訓示や庁議（市長、副市長、各局長の会議体）で（市政に対する市民の信頼が失われたことへの危機感のなさが指摘されたため）各管理者が自分の言葉で局、部、課の会議の場において、職員全員に直接語りかけるように指示した。</li> <li>・ ご意見いただきましたよう、例えば、服装が変わった、派手になったとか細かいことから職員の把握をする、また、日頃から職場ミーティングを細やかに行うなど職員間の意思疎通に努めるように各管理職に指示している。</li> <li>・ 昨年、人材育成基本方針をこの委員会で説明したが、職員研修については、これまでのように人材育成センターで集中的に行うということではなく、各職場において、テーマを持って行うこととしている。</li> <li>・ 研修内容は、横の連携を図るために職場研修推進制度の委員会を作り、その中で各職場の意見等を集約し、効果的なものとなるように努めているところである。</li> <li>・ 今後も、市民の皆様の信頼を回復するように全力で頑張っていきたいと考えている。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議事①から③について、何かご意見等はないか。</li> <li>・ 行財政改革の評価は、自己評価をしているということであるが、（各小項目の取り組み状況の一つ一つを細かく客観的に点検する）第三者の委員会はできていたか。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この委員会が第三者委員会と位置付けている。</li> </ul>

米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市だけの自己評価は甘くなるので、今後、このような第三者の委員会で細かく点検するシステムを作らないといけないのではないか。</li> <li>・ 特に、今度は平成20年3月末で、これまでの計画の検証を行うので、この委員会で点検を行うのであれば、毎年ではなくとも、例えば区切りの2年ごとで必ず点検をすれば良いのではないか。</li> <li>・ 他にご意見等ないか。</li> </ul>
委員一同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に意見なし。</li> </ul>
総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最後に、事務局から委員の皆様方に改めてお礼を申し上げたい。</li> <li>・ 2年間にわたり、現行財政改革推進計画と行革推進上の特定テーマなどについて、大変貴重なご意見、ご助言等をいただき心から感謝申し上げます。</li> <li>・ いただいたご意見等は、新行財政改革計画の中に可能な限り取り入れていきたい。</li> <li>・ 今後とも、本市の市政運営にご理解とご協力を賜りますようお願いしたい。</li> </ul>
米澤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以上をもって、平成19年度第2回熊本市行財政改革推進計画委員会を終了する。</li> </ul>